

平成28年度 事業計画

1 基本計画

国の経済情勢は、これまでの大胆な経済財政政策等の推進により、企業収益の上昇といった効果が見られ、所得や雇用環境の改善とともに、原油価格の低下等もあり、経済情勢は基調として緩やかな回復が続いています。

しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の景気減速の影響により、企業の設備投資や個人消費が低迷する懸念とともに、経済環境の回復が堅調な都市圏と比較して、回復の兆しに温度差が見られる地方にとっては、依然として厳しさが見込まれるところです。このことから、就業拡大や業務量の拡大については、厳しい状況が続くものと思慮されます。

また、国では少子高齢化社会による労働力減少の課題を抱えており、女性や高齢者等を活用し、労働力を確保すべく政策を立案しています。この中で、高齢者の就労支援の一つとして、シルバーの派遣・職業紹介に限り、就業時間週40時間までの拡大があります。健康を維持しながら働く意欲のある高齢者の活用が求められます。当シルバーとしては、人手不足分野・現役世代を支える分野の開拓とともに、生涯現役の気持ちを持って仕事ができる社会環境の整備と地域社会の担い手として活躍できる会員の拡大を目指していきます。

このような状況の中、当シルバーは、平成28年度事業計画において、平成27年度を若干上回る受託事業収益を見込んでいます。これは、平成23年度に4年振りに2億円台を回復して以後、会員役職員の努力による大台の実績維持と派遣就業の開拓に期待するものです。これからも、公益社団法人として、市民の皆さんの信頼を得ながら、地域における就業を通して、社会づくりに寄与するという使命を果たしていかねばなりません。

「自主・自立、共働・共助」のシルバー理念のもとに、関係機関との連携を一層強めながら、会員役職員一体となって、持続的で安定的な事業運営の確立を目指していきます。

このことから、平成28年度においては、次の6つの重点事業を掲げ、公益目的事業であるシルバー事業を着実に推進します。

- 会員の拡大と就業機会の確保・拡大
- 安全・適正就業の推進
- 就業マッチング講習の実施
- 普及啓発事業の強化
- 組織及び運営基盤の強化
- ボランティア活動の充実による社会参加の一層の推進

2 事業実施計画

(1) 会員の拡大と就業機会の確保・拡大

①入会説明会の開催

天童市にお住いの健康で働く意欲のある 60 歳以上の方を対象に、入会希望者向け説明会を毎月開催します。

説明会では、高齢者の社会参加と生きがいづくりを基本としたシルバー事業の趣旨を丁寧に説明し、より多くの方が入会できるように努めます。

②会員の拡大

全シ協は、全国のシルバー会員を 100 万人まで増やす運動を展開しています。

当シルバーは、今年度新規入会者 80 人、総会員数を市内 60 歳以上の約 3 % にあたる 650 人を目標に定め、会員の拡大に取り組みます。

また、病気や高齢による退会を少なくするための対策を検討し、会員数の維持を図っていきます。

③受託事業の拡大

シルバーの基幹事業は、請負・委任による就業です。「^{いち}一会員^{いち}一就業先開拓」を目標に、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を開拓します。

地域や事業所等の就業ニーズを的確に把握し、受注件数 2,800 件（前年度当初比 2 % 減）、就業延人員 67,000 人日（前年度当初比 1 % 増）、契約金額 2 億 2,550 万円（前年度当初比 1 % 増）を目標とします。

現役世代の雇用環境向上のため、人出不足分野等での高齢者の活躍の場を創出していきます。

④労働者派遣事業

臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務で、発注者の指揮命令を受けて就業する派遣事業を実施し、就業機会の確保・拡大に積極的に取り組みます。

受注件数 25 件、就業延人員 3,600 人日、契約金額 1,800 万円を目標とします。

⑤職業紹介事業

臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する高齢者のために、有料の職業紹介を行います。

⑥家事援助・高齢者軽度生活援助事業

一般家庭の家事援助や高齢者生活援助の需要が年々高まっていることから、就業会員の育成を図り、利用者の身になったサービスの提供に努めます。

(2) 安全・適正就業の推進

①安全就業・就業マナーの向上

「安全は、すべてに優先する」を徹底するため、安全パトロールを強化するとともに、会員の健康管理と作業前の安全点検を行う等、事故の未然防止の徹底に取り組みます。

さらに、安全就業及び就業マナーの向上を推進します。県内では、高齢者の交通事故が多く発生していることから、交通安全講習も実施します。

②適正就業

会員には「臨時・短期・軽易」の働き方に理解を求め、発注者には「請負・委任」「派遣」「職業紹介」3つの契約方法を周知し、法令順守のうえで多様な就業ニーズに対応できるよう努めます。

③就業調整

会員の就業意向調査を実施し、公平な就業機会を提供するため、ローテーション就業の徹底を図り、より多くの会員が就業できるように調整します。

また、「就業相談日」を月に1回開催し、会員の就業や健康に関する個別相談を承ります。

④地域班・職群班の強化

地域班は、会員相互の連帯意識をもとに、地域での就業ニーズの発掘や新規会員獲得が期待できるほか、ボランティア等でシルバー事業のPR効果を高める重要な組織です。多くの会員の皆さんが、地域班活動に積極的に参加して、会員の絆を深めて交流をしていきます。

職群班は、仕事を安全かつ適正に行うための重要な組織です。

就業の場所ごと、あるいは職種ごとに班を編成し、会員の共働・共助を推進し、発注者との信頼関係をさらに強化します。

(3) 就業マッチング講習の実施

農作業・植木・障子ふすま・毛筆筆耕・宿直・家事援助等の会員の技能向上と人出不足分野の後継者育成を目的とした講習会を実施するとともに、市内の一般高齢者を含めた高齢者の雇用・就業機会の確保を促進するための講習会を実施します。

(4) 普及啓発事業の強化

①市民・企業等へのPR活動

広報「シルバーてんどう」の発行、のぼり旗の掲揚、ホームページの更新、マスコミ（市報・新聞・テレビ・タウン誌等）の活用等、あらゆる手段で会員拡大・就業拡大に関する効果的なPR活動を行い、市民や企業にシルバー事業への理解を深めていただきます。

②子育て支援事業

小学生を対象とした笹巻き・門松づくり等の「みどりのスクール」は、参加者から好評を得ていることから、今年度は1回増やし、年に4回開校します。

(5) 組織及び運営基盤の強化

①市の補助金については、国の基準額に沿うよう増額を要望していくとともに、公共事業に係る就業の場の提供についても、引き続き要望していきます。

②中期事業計画を策定し、運営基盤の強化を進めます。

③会員1人ひとりがシルバー事業に参画します。

総会、地域班会議、地域班ボランティア活動、全体ボランティア活動、技能講習その他の事業（もみじ会を含む）のいずれか1つ以上に出席・参加することを、今年度も会員の目標とします。

(6) ボランティア活動の充実による社会参加の一層の推進

地域に密着したボランティア活動を実施し、高齢者の社会参加を促進しシルバー事業のPR効果を高めていきます。

10月第3土曜日「シルバーの日」に、おそろいのビブスを着用して全体ボランティア活動を実施します。地域班では、班長・副班長を中心に地域貢献の輪を広げていきます。